

日本ロッシーニ協会定期演奏会 2012

オペラ《セミラーミデ》抜粋 (ピアノ伴奏による楽曲セレクション)

企画概要

(文責：水谷彰良)

公演名 日本ロッシーニ協会定期演奏会 2012：歌劇《セミラーミデ》抜粋
(ピアノ伴奏による演奏会形式の楽曲セレクション。字幕はありません)

期日 2012年11月26日(月) 18時開場、18時30分開演

会場 さくらホール(渋谷区文化総合センター大和田)

渋谷駅から徒歩5分(渋谷区桜丘町23番21号)

全席指定 入場料 ¥4,500、学生 ¥3,500

主催 日本ロッシーニ協会

後援 イタリア文化会館、公益財団法人日伊協会

マネージメント：ミリオンコンサート協会

出演：天羽明恵(ソプラノ/セミラーミデ)
家田紀子(ソプラノ/セミラーミデ)
米谷朋子(メゾソプラノ/アルサーチェ)
阪口直子(コントラルト/アルサーチェ)
小山陽二郎(テノール/イドレーノ)
中井亮一(テノール/イドレーノ)
須藤慎吾(バリトン/アッスール)
小田桐貴樹(バス/オローエ)

日本ロッシーニ協会合唱団

ピアノ：金井紀子

解説：水谷彰良

《セミラーミデ》2幕の悲劇的メロドラマ

作曲 ジョアキーノ・ロッシーニ

台本 ガエターノ・ロッシ

原作 ヴォルテールの5幕悲劇『セミラミス (*Sémiramis*)』(1748年パリ初演)

初演 1823年2月3日 ヴェネツィア、フェニーチェ劇場

作品について

2幕の悲劇的メロドラマ《セミラーミデ》はロッシーニがイタリアで作曲した最後のオペラであると同時に、オペラ・セーリアのジャンルの頂点をきわめる記念碑的作品です。初演は1823年2月3日、ヴェネツィアのフェニーチェ劇場で行われて成功を収め、同年中にヴィーンとナポリ、翌1824年ミュンヘンとロンドン、1825年パリとヴァイマル……と瞬く間にヨーロッパ中に流布しました。この作品はまだ日本初演が行われたことがなく、この演奏会もピアノ伴奏によるアリア、二重唱、アンサンブルの楽曲セレクションですが、超絶技巧を駆使する大作への日本ロッシーニ協会による初挑戦となります。

あらすじ

古代バビロニアの女王セミラーミデは、かつてアッスールと共謀して前王ニーノを殺害し、15年経ったいま新たな王を指名する時を迎えていた。セミラーミデはアッシリアの武将アルサーチェをひそかに愛し、人々の前で彼を王にして自分の夫となるべき者として指名する。アッスールはアルサーチェへの復讐を企てるが、アルサーチェは自分がセミラーミデと前王ニーノの息子ニーニャであることと祭祀長オローエに教えられる。やがてセミラーミデもその事実を知って絶望し、自分を殺して父の仇を討つようアルサーチェに求める。アルサーチェは母と和解してアッスールへの復讐に赴くが、暗い地下墓所で彼の剣に倒れたのはセミラーミデだった。アッスールは逮捕され、母を手にかけてアルサーチェもみずからの運命を呪うが、すべては神意の成就であるとする民衆から歓呼の声で王を迎えられる。

出演者プロフィール

天羽 明恵 Amou Akie (Soprano)

東京芸術大学卒業。オペラ研修所修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてシュトゥットガルトに留学。95年 第6回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。同年ソニヤ・ノルウェー女王記念第3回国際音楽コンクールに優勝。ドイツを拠点にヨーロッパ各地の歌劇場と音楽祭に数多く出演、日本でも新国立劇場、サントリーホール・ホールオペラなどで活躍。99年度アリオン賞、2003年第14回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。日本ロッシーニ協会運営委員。サントリーホール・オペラアカデミーのコーチング・ファカルティ。

家田 紀子 Ieda Noriko (Soprano)

東京音楽大学卒業。小澤征爾指揮民音オペラ『スペードの女王』でデビュー以来、新国立劇場、藤原歌劇団、日本オペラ協会、東京室内歌劇場、日本オペレッタ協会など数多くの舞台に出演。ローマ、パリ、アイルランド、ルーマニア、シンガポール、ソウル、上海、大連に招かれるなど国内外で活躍。『夕鶴』のプロデュース主演は国内で7回、2012年5月、池辺晋一郎『おしち』プロデュース主演。藤原歌劇団団員。日本ロッシーニ協会運営委員。日本演奏連盟会員。CD『永遠に』『宵待草』『歌に生き 恋に生き』をリリース。

米谷 朋子 Maiya Tomoko (Mezzosoprano)

島根大学教育学部卒業。東京芸術大学卒業、同大学院オペラ専攻修了。藝大創立120年記念第53回藝大オペラ《ボエム》にムゼッタ役で出演。第13回世界オペラ歌唱コンクール「新しい声2009」アジア予選決勝にて日本人唯一の代表に選ばれ、ドイツ・ギュータースローの世界大会に参加。オペラは《ゴジ・ファン・トゥッテ》ドラベッラ、《ルーチョ・シッラ》チェチーリオ、《アルチーナ》ブラダマンテ等を演じ、宗教曲のソリストとしても活躍。日本音楽アカデミー会員。サントリーホール・オペラアカデミー・メンバー。

阪口 直子 Sakaguchi Naoko (Contralto)

武蔵野音楽大学卒業。東京芸術大学大学院修了。1984年度文化放送音楽賞受賞。1985年イタリア・シエナのキジアーナ音楽院夏期講習で最優秀賞を受賞。《第九》《メサイア》《クリスマス・オラトリオ》、《エリア》(N響定期、サバリッシュ指揮)、ブラムス《アルト・ラプソディー》、マーラー《交響曲第2番〔復活〕》等のソリストとして活躍。オペラは《オロンテア》《フィガロの結婚》《ランスへの旅》などに出演。アンサンブル「BWV2001」メンバー。日本ロッシーニ協会運営委員。国立音楽大学非常勤講師。

小山 陽二郎 Oyama Yojiro (Tenore)

愛知県立芸術大学、同大学院修了。1994年ミラーノに留学。カシナ・リリカ、ブダペスト両国際声楽コンクール、R・ブローグ歌曲コンクール、ドニゼッティ・ロッシーニの声コンクール第2位入賞のほかM・カラス、T・スキーバ、F・タリアヴィーニ等の各国際コンクールに入選。イタリア各地で《愛の妙薬》《セビリヤの理髪師》《アルジェのイタリア女》《リゴレット》などに出演し、97～99年にはハンガリー国立歌劇場でも活躍。日本ロッシーニ協会運営委員。昭和音楽大学及び大学院講師。藤原歌劇団団員。

中井 亮一 Nakai Ryoichi (Tenore)

名古屋芸術大学声楽科首席卒業、同大学院修了。ミラノ・スカラ座音楽院オペラ研修所修了。2006年ヴェネツィア国際音楽祭、08年フェニーチェ歌劇場のコンサートなどに出演。2007年ロッシーニ・オペラ・フェスティバル若者公演《ランスへの旅》にベルフィオーレ役で出演し、L'Opera 誌、朝日新聞などで好評を得る。イタリア各地で《椿姫》アルフレード、《ドン・バスクワレ》エルネストなどを演じ、2010年藤原歌劇団《タンクレーディ》アルジーリオで本格的東京デビューを果たす。日本ロッシーニ協会会員。

須藤 慎吾 Sudou Shingo (baritono)

国立音楽大学卒業、同大学院修了。第37回イタリア声楽コンクールソシエナ大賞受賞、第42回日伊声楽コンクール第1位ならびに歌曲賞受賞、第21回ヴァルセツィア国際音楽コンクール入選、第10回オルヴィエート国際オペラコンクール第2位。《ドン・ジョヴァンニ》タイトルロールでオペラ・デビュー。7年間のイタリア留学中にミラーノを中心にイタリア各地の劇場に出演して好評を博す。ヴェルディ・バリトンとして高い評価を受ける。国立音楽大学非常勤講師、同大学音楽研究所(オペラ部門)所員、藤原歌劇団団員。

小田桐 貴樹 Odaghi Takaki (basso)

昭和音楽大学卒業。(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。昭和音楽大学オペラ《愛の妙薬》《夢遊病の娘》《ピーア・デ・トロメイ》、首都オペラ《ラ・ジョコンダ》《魔弾の射手》、文化庁芸術団体人材育成支援事業《フィガロの結婚》、藤原歌劇団《どろぼうかささぎ》《ランメルモールのルチア》などに出演。2009年、下八川奨学金、昭和音楽大学同僚会奨学金を得てフィレンツェに留学。ローマ市開催のフェスティバル《ゴジ・ファン・トゥッテ》《ラ・ボエム》に出演。昭和音楽大学講師、藤原歌劇団団員。

金井 紀子 Kanai Noriko (Piano)

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業、同大学専攻科修了。声楽のアンサンブルピアニストとしての実績は45年以上に及び、オペラの分野ではコレペティートルとして二期会、藤原歌劇団、東京室内歌劇場、東京オペラプロデュース、新国立劇場小劇場などで活躍。1988～89年文化庁芸術家在外研修員としてミラーノのスカラ座に留学し、イタリアのテレビ番組《リリカ・イン・サロット》のレギュラーピアニストを務め、T.ファッツリチーニ、M.レアールなどのリサイタル伴奏も務める。日本ロッシーニ協会事務局長。昭和音楽大学名誉教授。

水谷 彰良 Mizutani Akira (解説)

1957年 東京生まれ。オペラ研究者。日本ロッシーニ協会会長。フェリス女学院大学オープンカレッジ、朝日カルチャーセンター(新宿)講師。著書：『プリマ・ドンナの歴史』(全2巻、東京書籍)、『ロッシーニと料理』(透社)、『消えたオペラ譜』『サリエリ モーツァルトに消された宮廷楽長』『イタリア・オペラ史』(音楽之友社。『サリエリ』で第27回マルコ・ポーロ賞受賞)。共著：『オペラ・キャラクター解説事典』(音楽之友社)、『一冊でわかるクラシック音楽ガイド』(成美堂出版)、『魅惑のオペラ』(小学館。全30巻)ほか。

◎日本ロッシーニ協会 Società Rossiniana Giapponese

日本ロッシーニ協会は、ロッシーニを愛する音楽研究者、評論家、声楽家、演奏家、オペラ愛好家によって1995年12月に設立された団体です(名誉会長:フリリップ・ゴセット、会長:水谷彰良、事務局長:金井紀子)。定期演奏会と例会の開催、研究紀要『ロッシニアーナ』の発行を主な事業とし、ロッシーニに関心のある方はどなたでも入会できます。入会資料請求は事務局まで(Fax:03-3722-0426)